

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**(仮称)ディアメゾン河原町**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.2</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.5</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1.1.1 暗騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
2 設備騒音対策			-		-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>2.0</b>	0.40	<b>3.2</b>	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能		<b>2.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30			
2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>4.0</b>	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20			
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.9</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温設定		<b>3.0</b>	0.63	-	-			
2 負荷変動 追従制御性			-		-			
3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	1.00			
4 ゾーン別制御性		<b>3.0</b>	-		-			
5 温度・湿度制御			-		-			
6 個別制御			-		-			
7 時間外空調に対する配慮			-		-			
8 監視システム			-		-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.25	<b>3.2</b>	1.00			<b>3.1</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.50			
1 昼光率	全住戸LD側の窓の面積を大きく確保している。	-	-	<b>5.0</b>	0.50			
2 方位別開口		-	-	<b>1.0</b>	0.30			
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.20			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			
1 照明器具のグレア			-		-			
2 昼光制御		<b>2.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
1 照度		<b>3.0</b>	1.00	-	-			
2 照度均斉度			-		-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00			<b>3.6</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用している。	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00			
2 アスベスト対策			-		-			
3 ダム・カビ等			-		-			
4 レジオネラ対策			-		-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38			
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33			
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33			
4 給気経路			-		-			
<b>4.3 運用管理</b>			-		-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	-		-			
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	-		-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.8</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00			<b>3.7</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>1.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのブロードバンドが利用可能としている。	<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	1.00			
3 バリアフリー計画		<b>1.0</b>	1.00		-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50			
2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	-		-			
3 内装計画		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>			-		-			
1 維持管理に配慮した設計			-		-			
2 維持管理用機能の確保			-		-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.4</b>	0.31	-	-			<b>3.4</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48		-			
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80		-			
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20		-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>4.1</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3(構造躯体)の規定を満たしている。	<b>5.0</b>	0.23		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁にタイルを使用(雨がかり部)	<b>5.0</b>	0.23		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>2.0</b>	0.09		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.08		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:B以上、汚水:B以上、雑排水:B以上	<b>5.0</b>	0.15		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.23		-			

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	光ケーブルを採用しMDFの浸水の危険性がない場所に設置している。	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.1	0.29	2.4	1.00
3.1 空間のゆとり			-	-	2.8	0.50
1	階高のゆとり	階高を2910mmとしている。	3.0	-	4.0	0.60
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	1.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	2.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.1	1.00	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性	住戸内給水はサ管工法を採用とし、排水管のコンクリート埋込なし。	4.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		エコジョーズの採用及び照明設備にLEDを採用している。	4.8	0.40	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-
1.1	節水	キッチン・浴室に節水型水栓を採用とし、便器に節水型を採用している。	4.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント: 杭	4.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイル: 外壁 集成材・パーティクルボード: 内装材	5.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.4	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.6	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない。	4.0	0.33	-	-
2	断熱材	ODP=0 GWP=50未満を採用している。	5.0	0.33	-	-
3	冷媒		2.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2が排出されにくい設計としている。	4.8	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車・駐輪スペースの確保。導入路をTPと分けて確保。	4.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしており、広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-